

JASDAQ

証券コード：4288



株式会社 アズジェント

第13期 中間報告書

2009年4月1日～2009年9月30日

FINANCIAL HIGHLIGHT

財務ハイライト

第2四半期決算

単位(千円)

経営成績	当第2四半期累計 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前四半期累計 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
売上高	1,833,196	1,757,206
営業利益	206,483	111,330
経常利益	206,826	116,032
四半期純利益	227,395	140,343
1株当たり四半期純利益(円)	5,759.03	3,554.34
1株当たり年間配当金(円)	—	—

財政状態	当第2四半期 (平成21年9月30日現在)	前期実績 (平成21年3月31日現在)
純資産	1,375,093	1,148,697
総資産	2,082,274	2,193,760
1株当たり純資産額(円)	34,825.72	29,091.99

通期見通し	通期見通し (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	前期実績 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高	4,000,000	3,487,878
営業利益	421,000	242,678
経常利益	416,000	257,681
当期純利益	457,000	302,817
1株当たり当期純利益(円)	11,574.02	7,669.18

(注) 本中間報告書中において百万円及び千円単位で表示している金額は、単位未満を切り捨てております。

POINT

■第2四半期決算で過去最高の利益水準

ファイアウォール関連の主力商品、新規での取扱商品及びサービスに注力したことにより増収増益を計上。

■業績予想

当第2四半期の業績は当初の見通しを大きく上回りましたが、平成22年3月期通期業績としましても同様の状況を見通しており、当初の見通しを上方修正。

■配当金につきまして

内部留保の蓄積と事業の成長に資源を配分させていただき、一段の収益力の向上を目指し無配。

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。今般、第13期中間報告書（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当事業年度におけるわが国の経済は、昨年度の後半来長期化している金融不安と世界景気の低迷が続き、一時の最悪期は脱して回復の兆しは見えているものの、株価の低迷、円高傾向等の影響もあり、依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境の下、当社は平成9年の設立以来、セキュリティ商品の販売と関連するサービスの提供を事業の中核としながら、情報セキュリティ管理や、そこから派生するリスク管理の分野等においても、研究開発とサービスの提供を続けております。

また【社員一人一人がエンパワーされた「自由、公平、柔軟かつ迅速」な環境の下、「責任、信頼、改革と結果」を具現化できるグローバルな企業文化を目指す】というミッションステートメントに基づき、企業業績を最大化させることに努めてまいりました。

前述の通り、依然として先行きが見通せない経済環境ですが、当社におきましては、不採算事業の整理が平成20年3月期で完了したことや、中核事業であるセキュリティ商品の販売と関連するサービスの提供に経営資源を集中させたことで、過去最高の利益水準を達成することができました。

今後とも「セキュリティ」のキーワードのもと、一層の業容拡大と業績向上により企業価値の増大を実現し、株主のみなさまの信頼とご期待に沿えるよう社業に邁進する所存でありますので、何卒、変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成21年12月

代表取締役社長

杉本 隆洋

OUR STRATEGIES

経営戦略

中期的な経営戦略

当社は、セキュリティ・ポリシーの策定、支援から個々のセキュリティ対策までを総合的に提供するセキュリティ・ソリューション・ベンダーです。セキュリティ関連商品の輸入販売及び関連サービスの2つの事業を経営の中心に据えております。今後もセキュリティ分野の事業展開に特化し、ファイアウォール等の既に広く認知されたセキュリティ対策商品に加え、次世代に訪れるニーズや技術を具現化するために、当社が持つ多様なノウハウを生かし、継続的な成長を実現し企業価値の増大を図るべく努力を重ねてまいります。以上の方針に基づき、①「セキュリティ商品による収益基盤の強化」及び②「サービス事業（コンサルティング、保守、技術サービス）」を当社の主要戦略と位置付け、それぞれ具体的な戦術を実施してまいります。また中期的な会社の経営戦略としては、現在の収益を支えるファイアウォール関連商品やその他のセキュリティ関連商品を一定収益基盤として確保しつつ、更なる成長の実現に向け、セキュリティ関連のサービス分野を充実させることにあります。

① セキュリティ商品による収益基盤の強化

ファイアウォールは、セキュリティ市場の中で最大の市場規模となっており、今後も当社の重要な収益基盤となります。当社はチェック・ポイント社製FireWall-1及びそれを内蔵するファイアウォール・アプライアンスの販売並びにサービスの提供に高い実績があり、販売代理店及びエンドユーザーからの高い信頼を得ております。販売代理店との良好な関係の継続と、販売実績を生かした既存顧客へのよりきめ細かなサービスを提供することにより、当社の位置付けをより強固なものとし当該市場で安定的な収益確保を図ってまいります。

② サービス事業（コンサルティング、保守、技術サービス）
セキュリティ・ポリシー事業は自社開発のセキュリティ・ポリシー策定、運用支援ツール「M@gicPolicyCoSMO」及び関連コンサルティング、セキュリティトレーニングを販売、提供する事業です。

当該事業はISO27000シリーズとしてISO化された情報セキュリティマネジメントの認証制度（ISMS認証）を基盤とした事業で、当社はISMS関連のトレーニングにおいては、トップシェアを確保しております。当社コンサルティング事業と補完関係にある「M@gicPolicyCoSMO」は、組織のセキュリティ・ポリシーを策定し、マネジメントサイクルを経営陣、情報セキュリティ委員、従業員等とともに継続的に運用するためのツールとなっておりますので、「ISMS 認証取得を志す企業」「ISMSコンサルティング企業」のみならず、「ISMS 認証取得済み企業」に有効なプロフェッショナルツールです。

当該事業が提供するツール、コンサルティング、トレーニングにより、当社はセキュリティ市場において他社との差別化を図ることが可能になると考えます。「M@gicPolicyCoSMO」の継続的な改良及び効果的な販売戦略の実施によって、新しい顧客の獲得とその他のセキュリティ商品及び関連サービスへの波及効果により、売上高の拡大を図り、当社の中核を担う事業に育て上げていきます。

当第2四半期の概況

①当第2四半期の概況

当第2四半期累計期間の経済状況は、依然として厳しい見通しですが、ネットワークセキュリティ市場の動向としましては、昨年来、基幹システムやネットワークの安全性を維持するものから、いわゆる個人情報保護法対策、J-SOX対応、ISMS対応などのリスクマネジメント分野への対応が本格化したことなどで、セキュリティ対策が多様化し、全般的な需要も高まりました。また対策分野の広がりだけではなく、セキュリティの維持及び保守の継続需要もあり、インフラとしてのセキュリティ需要は増進しており、市場全体は成長期に位置付けられています。

そのような環境下、当社はファイアウォールをはじめ、迷惑メール対策商品やサーバー監視ツール等の各種セキュリティ商品の拡販、イメージバックアップソリューション等の新しいセキュリティ商品の販売及び日本HPとデータセンター自動化分野においての協業も開始いたしました。また、大企業ユーザーが求める迅速で質の高いテクニカルサポートやセキュリティ教育、コンサルティングサービスの拡充に注力いたしました。

通期の見通し

業績見通しにつきましては、昨年来続く世界経済の失速による消費財販売不振や円高の影響を受け企業収益の悪化とそれに伴う設備投資の減少が予想される状況下、当社は、ファイアウォールを中心としたセキュリティ商品、新規ビジネスの開発、関連サービスの提供をより強化すること。また付加価値の高いコンサルティング及び付帯サービスの収益性を高めることにより、売上高は4,000百万円と対前期比14.7%の増収を見込んでおります。

また、利益見通しにつきましては、営業利益は対前期比で73.9%増の421百万円、経常利益は同じく61.8%増の416

②財政状態及び経営成績の分析

当第2四半期累計期間の売上高は1,833百万円（対前年同期比4.3%増）、営業利益が206百万円（対前年同期比85.5%増）、経常利益が206百万円（対前年同期比77.5%増）、四半期純利益が227百万円（対前年同期比62.1%増）となり、前期に続き増加いたしました。これはファイアウォール関連の主力商品、新規ビジネスでの取扱商品及びサービスに注力し、当社の強みを発揮した結果として対前年同期と比較しまして大幅な利益を計上しました。また買掛未払債務及び借入金を圧縮させた結果、繰越利益剰余金389百万円を計上できたことにより純資産を大幅に増加させることができました。

百万円、当期純利益は同じく51.3%増の457百万円をそれぞれ見込んでおります。

なお、業績予想は当社が現時点で入手可能な情報及び当社が合理的であると判断するデータに基づいて行っておりますが、作成に使用したデータは不確定要素を含んでいること及び当社を取り巻く経済環境や市場動向の変化が起こり得る等の理由により、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。

FINANCIAL DATA

決算概要

四半期貸借対照表 (要旨)

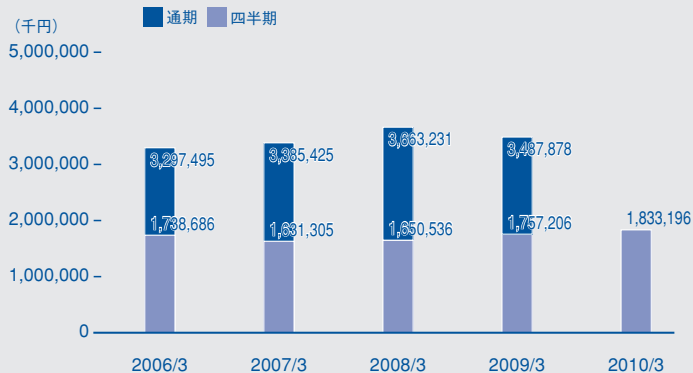
単位 (千円)

科 目	当四半期 (平成21年9月30日現在)	前 期 (平成21年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	1,609,093	1,794,004
固定資産	473,181	399,756
有形固定資産	175,771	191,865
無形固定資産	60,593	74,797
投資その他の資産	236,816	133,092
資産合計	2,082,274	2,193,760

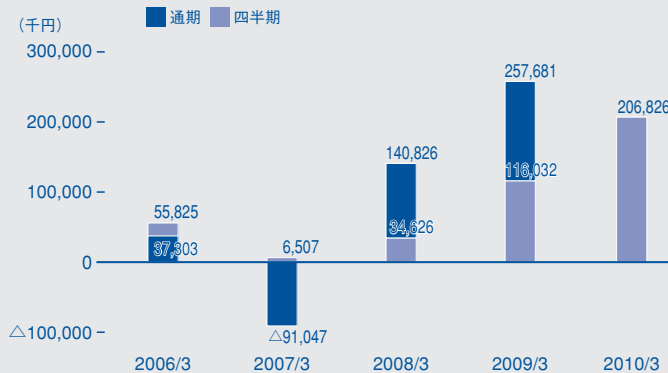
単位 (千円)

科 目	当四半期 (平成21年9月30日現在)	前 期 (平成21年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	488,018	846,108
固定負債	219,162	198,955
負債合計	707,181	1,045,063
純資産の部		
株主資本	1,378,414	1,151,018
資本金	769,500	769,500
資本剰余金	705,200	705,200
利益剰余金	△96,285	△323,681
評価・換算差額等	△3,320	△2,321
その他有価証券評価差額金	△3,320	△2,321
純資産合計	1,375,093	1,148,697
負債純資産合計	2,082,274	2,193,760

売上高



経常利益



四半期損益計算書（要旨）

単位（千円）

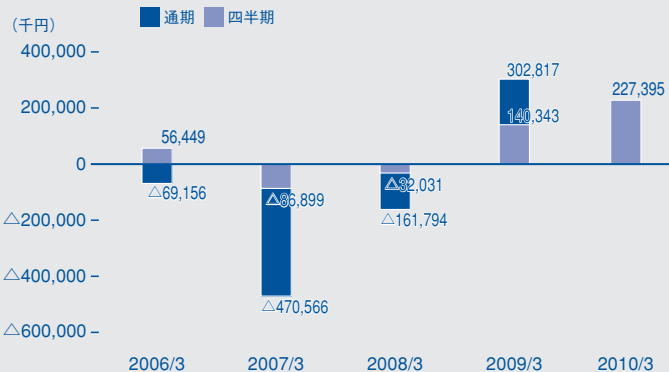
科 目	当四半期累計 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前四半期累計 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
売上高	1,833,196	1,757,206
売上原価	1,047,911	1,110,604
売上総利益	785,285	646,601
販売費及び一般管理費	578,802	535,271
営業利益	206,483	111,330
営業外収益	3,755	9,562
営業外費用	3,412	4,860
経常利益	206,826	116,032
特別利益	8,438	—
特別損失	3,133	5,455
税引前四半期純利益	212,132	110,577
法人税、住民税及び事業税	1,145	1,145
法人税等調整額	△16,408	△30,910
四半期純利益	227,395	140,343

四半期キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位（千円）

科 目	当四半期累計 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前四半期累計 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	164,271	279,242
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,743	△19,677
財務活動によるキャッシュ・フロー	△246,500	△162,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△3,642
現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△141,971	93,422
現金及び現金同等物の期首残高	784,196	536,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	642,225	630,042

四半期（当期）純利益



チェック・ポイント・ソフトウェア・ テクノロジーズ社のセキュリティ技術と ノキアのハードウェア技術が完全統合し、 新たなアプライアンスが登場



IPアプライアンス (旧 ノキアIPシリーズ) は、チェック・ポイント社のセキュリティソフトウェアVPN-1とノキア社の「ノキアIPシリーズ」が、単一ソリューションとして完全統合されたセキュリティ・アプライアンスです。長年、業界をリードするセキュリティ・ゲートウェイとして多くの企業で利用されている実績をもつとともに、今回の完全統合により利用しているユーザは、ハードウェア、ソフトウェアを意識することなく1つのメーカーよりサポートを受けることができます。

特長

- 高いパフォーマンスが必要とされる複雑な環境において、ファイアウォール、VPN、新入防衛といったあらゆるセキュリティ機能を提供
- 小規模のネットワークから大規模ネットワークまで幅広いレンジに対応して様々な製品ラインアップ
- 業務の継続性とバランスの取れたパフォーマンスを確保するためのハイアベイラビリティ技術 (VRRP、IPアプライアンス・クラスタリング) を搭載
- ネットワーク環境に応じて選べる多彩なインタフェース・オプション
- PIM、RIP、BGP等広域なトラフィックタイプをサポートする高度なルーティング・プロトコルを搭載。
- 高度な管理ツールにより、インストール、設定の負荷を軽減



Check Point
SOFTWARE TECHNOLOGIES LTD.

2009年11月

- ブルーコートシステムズ社とディストリビュータ契約を締結 **C**

2009年10月

- 日本HP社とデータセンター自動化分野において協業 **B**

2009年5月

- チェック・ポイント社がノキアのセキュリティアプライアンス部門との統合により新しいアプライアンス製品 **A** を発表

2009年2月

- 迷惑メール対策アプライアンス「PineApp Mail-SeCureシリーズ」がバージョンアップし、マルチドメイン環境に対応

2009年1月

- イメージバックアップソフトShadowProtect中小規模企業版の販売を開始

2008年9月

- チェック・ポイント社より「Best Solution Partner」を受賞

2008年9月


- 迷惑メール対策アプライアンス「PineApp Mail-SeCureシリーズ」ラインアップを刷新

2007年12月

- ノンストップ環境で高速にシステムバックアップを行う「ShadowProtect」を販売開始

B

HPデータセンター 自動化ソリューション

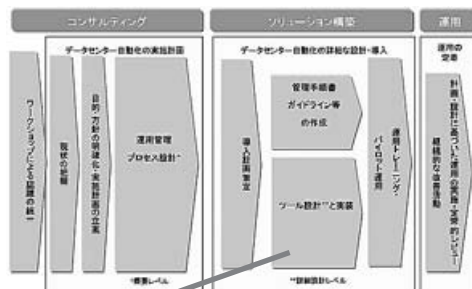
HP Software
Gold Business Partner 

日本HPの提供する「HP Data Center Automation Center」は、データセンター管理のライフサイクル全体を自動化することにより、複雑な環境でも高品質なサービスを低コストで実現できます。

また、データセンターの環境をアセスメントし、導入効果を最大限に高めるコンサルティングサービスも提供しております。

一方、アズジェントはITILに基づく上位コンサルティングサービスを提供し、最適なデータセンター設計を支援するとともに、日本HPとの協業によるアセスメントサービスを通じてデータセンター自動化のソリューション構築サービス、導入後の保守サポートを提供いたします。

両社が協業することにより、アズジェントの販売力、コンサルティング力、構築力、サポート力と日本HPの製品力、自動化に関するノウハウが統合され、データセンター自動化において経営層を交えたコンサルテーションからソリューションの構築、保守サポートまでの一連のプロセスを提供することが可能となります。



- HP Network Automation Software
- HP Operations Orchestration Software
- HP Server Automation Software
- HP Universal CMDB Software

C

BlueCoat

～既存のセキュリティ・ゲートウェイ製品との組み合わせにより、ワンストップでゲートウェイセキュリティソリューションを提供～

アプリケーション配信ネットワークのテクノロジーリーダーであるブルーコートシステムズ合同会社とディストリビュータ契約を行い、ブルーコートシステムズ社のWebセキュリティアプライアンスをはじめとするアプライアンス製品群の販売を12月1日より開始します。

ブルーコートシステムズ社のソリューションは、インターネットをより安全かつ高速に利用するため、世界、日本両地域において最も定評のあるソリューションです。ブルーコートシステムズ社が提供するWebセキュリティアプライアンス、WANアクセスの高速化ソリューションおよび帯域制御ソリューションは今後も大きく成長が期待される分野です。

アズジェントのFireWall/UTMで長年培った販売力、サポート力、システム構築力と、ブルーコートシステムズ社のソリューションを組み合わせることにより、より完成度の高い安全かつ高速な情報配信ソリューションをユーザに提供できるようになります。

BlueCoat



PacketShaper	Proxy SGシリーズ	
可視化 (Visibility)	加速化 (Acceleration)	セキュリティ (Security)
<ul style="list-style-type: none"> ・ アプリケーション・パフォーマンスの監視 ・ P2Pトラフィック・シェーピング ・ アプリケーション可視化 ・ 計測・優先度設定 ・ ネットワーク評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンテンツ配信ネットワークと帯域管理 ・ ビジネスアプリケーションの加速化 ・ サーバ統合 ・ アプリケーション配信の高速化 / モバイルアクセスの高速化 ・ データ・バックアップ及びリカバリ ・ VoIPの加速化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マルウェア及びスパイウェア対策 ・ 情報漏えい対策 ・ Webコンテンツ・フィルタリング ・ セキュアなりモートアクセス ・ SSLトラフィック可視化と制御 ・ IMとP2Pのコントロール ・ コンプライアンスとガバナンス

STOCK INFORMATION

株式の状況 (2009年9月30日現在)

発行可能株式総数 136,800株

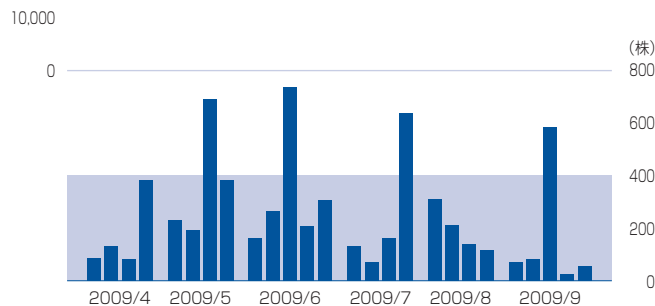
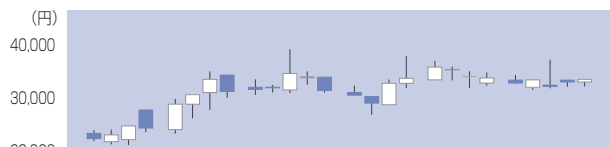
発行済株式総数 39,485株

株主数 2,699名

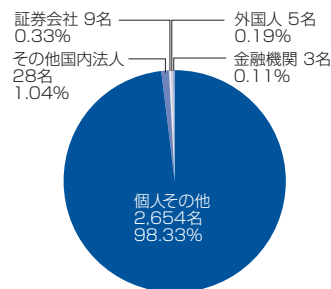
大株主 (上位11名)

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
杉本隆洋	21,024	53.25
みずほキャピタル株式会社	1,610	4.08
株式会社オービックビジネスコンサルタント	636	1.61
山内健至	392	0.99
和田成史	315	0.80
日本証券金融株式会社	300	0.76
松井証券株式会社	241	0.61
櫻山徳次	207	0.52
吉田勝義	180	0.46
鍛冶邦充	150	0.38
株式会社みずほ銀行	150	0.38

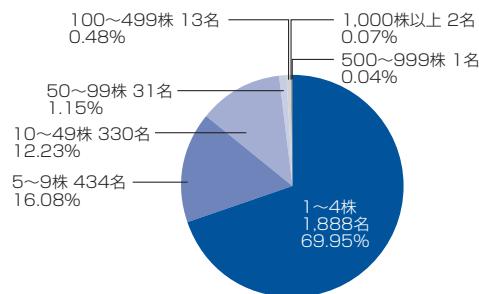
株価チャート (週足)



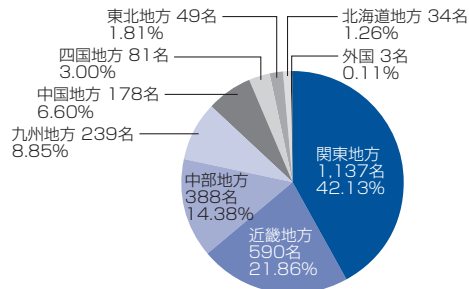
所有者別株主分布状況



所有数別株式分布状況



地域別株主分布状況



CORPORATE DATA

会社概要 (2009年9月30日現在)



商 号 株式会社アズジェント
英 文 名 Asgent, Inc.

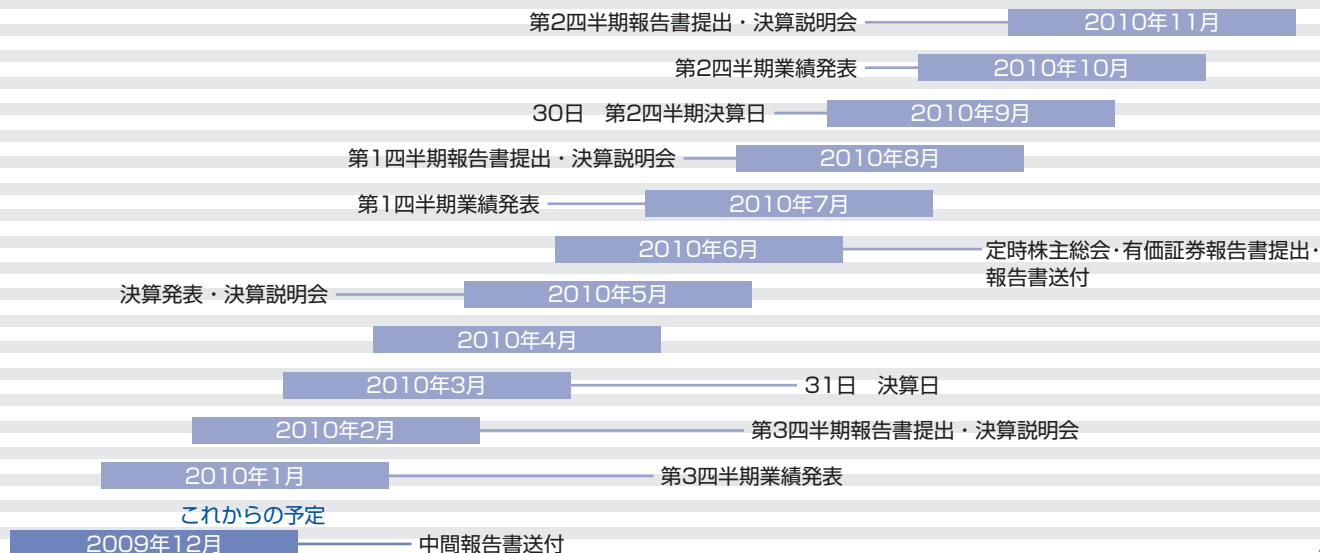
役 員

住 所 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町19-7
設 立 1997年11月10日
資 本 金 7億6,950万円
従 業 員 数 83名
事 業 内 容 ネットワークセキュリティ関連商品の輸入販売
及び保守、各種セキュリティ関連サービスの提供
並びにセキュリティ・ポリシー策定運用支援
コンサルティングやトレーニングの開催等

代表取締役社長 杉 本 隆 洋
取 締 役 駒 瀬 彰 彦
取 締 役 花 澤 和 美
監 査 役 斎 藤 潔
監 査 役 宮野尾 幸 裕
監 査 役 鈴 木 一 郎
監 査 役 佐 藤 恒 夫

IR CALENDAR

IR・株式カレンダー



株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日	
剰余金の配当	3月31日
中間配当金	9月30日
株主名簿管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324（フリーダイヤル共通）
特別口座管理機関取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
公告方法	電子公告により行います。ただし電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 〈電子公告掲載URL〉 http://www.asgent.co.jp/



Asgent 株式会社 アズジェント

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 19-7
19-7 Nihonbashi-Koamicho Chuo-ku, Tokyo 103-0016 Japan
Phone:03-5643-2581
URL:<http://www.asgent.co.jp/>